

ガスコンロに起因する火災事例

火災概要

本件火災は、ガスコンロでやかんのお湯を沸かしていたところ、出火した火災事例です。

ガスコンロは過熱防止装置が設けられていないタイプであり、家人によると、「お湯を沸かしている間に寝てしまった」とのことです。汁受けは清掃を行わないことによって、油や食品カスなどで汚れている状況でした。



現場の焼損状況

○ 実験条件

過熱防止装置：解除（実験のため、意図的に解除）

やかんの中：水 500ml

汁受け内：菜種油 大さじ1杯（実験のため、油汚れを再現）



実験開始の状況

着火時の状況

（開始 23 分後、汁受け内から出火）

汁受け内の状況

（実験終了後）

原因概要

火災現場の状況や再現実験より、家人がガスコンロでやかんのお湯を沸かしている時に寝てしまい、その間にやかんのお湯が蒸発して空だき状態となったため、過熱されたやかんの輻射熱で汁受け内の油分等が発火し、出火に至ったものです。

類似火災抑止対策

ガスコンロには、立消えや過熱防止装置等の安全装置が設置されているものが有りますが、コンロの清掃を行わずに、油などで汚れた状態のまま使い続けると、これらの機能が作動する前に火災になる場合があります。

以下の再現実験では、過熱防止装置が設置されていても、食品カスを再現した天かすに着火する結果となりました。ガスコンロは定期的に清掃し、使用する際はその場を離れないでください。

○ 実験条件

過熱防止装置：あり

やかんの中：水 500ml

汁受け内：天かす 大さじ2杯（実験のため、食品カス汚れを再現）



実験開始の状況



着火時の状況

（開始 21 分後、汁受け内から出火）



汁受け内の状況

（実験終了後）

『参考』

こんろの過熱防止装置は国の安全基準で 2008 年から全口に設置されています。

火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。